

中央アジア史Ⅱ

科目ナンバリング HAA-224
選択 2単位

山内 和也

1. 授業の概要(ねらい)

中央アジアは洋の東西を結ぶユーラシア大陸の中央部に位置する地域です。このユーラシア大陸、そして中央アジアを貫くシルクロード、すなわち「絹の道」は物だけでなく、さまざまな宗教を洋の東西に伝えるとともに、たくさんの人たちが往来する道でもあり、私たちの文化の交流、人間の交流の歴史において大きな役割を果たしてきました。この授業では、中央アジア、そしてシルクロードに焦点をあて、その歴史的、文化史的重要性を学びます。特に、アフガニスタンのバーミヤーン遺跡を具体的な事例としてとりあげ、その時代の歴史や文化、宗教を学びます。

2. 授業の到達目標

中央アジアの世界を理解すること、そして中央アジアが持つ歴史的なダイナミズムを理解すること。

3. 成績評価の方法および基準

課題レポート60%、授業参加状況40%(確認テストを含む)

4. 教科書・参考文献

教科書

なし

参考文献

宇山智彦編 『中央アジアを知るための60章 第2版』2010年 明石書店

小松久男・梅村坦・宇山智彦・帯谷知可・堀川徹(共編) 『中央ユーラシアを知る事典』2005年 平凡社

小松久男(編) 『テュルクを知るための61章』2016年 明石書店

シルクロード検定実行委員会 『読む事典 シルクロードの世界』 NHK出版

5. 準備学修の内容

シラバスに参考文献を記しておきましたが、それ以外にも授業のなかで、それぞれの授業のトピックに関する文献を紹介しますので、可能な限り、それを手に取って読んでみてください。また、授業で指示する課題について、そうした文献を活用してレポートをまとめてください。

6. その他履修上の注意事項

中央アジアは日本人にとって近くて遠い地域にあたります。その一方で、中央アジアを通るシルクロードを通じて、日本にはさまざまな文化が伝わりました。中央アジアそのものだけでなく、過去から現在まで続く日本との関係についても興味を持っていただきたいと思います。

7. 授業内容

- 【第1回】 シルクロードの世界—文明の十字路—
- 【第2回】 アフガニスタンとバーミヤーンを知る
- 【第3回】 玄奘が見たバーミヤーン
- 【第4回】 中央アジアの宗教を学ぶ—ゾロアスター教1—
- 【第5回】 中央アジアの宗教を学ぶ—ゾロアスター教2—
- 【第6回】 中央アジアの宗教を学ぶ—マニ教—
- 【第7回】 バーミヤーン遺跡とは何か
- 【第8回】 バーミヤーンの大仏と壁画の破壊
- 【第9回】 中央アジアの宗教を学ぶ—仏教と仏像の誕生—
- 【第10回】 バーミヤーンの考古学
- 【第11回】 バーミヤーンの仏教壁画1
- 【第12回】 バーミヤーンの仏教壁画2
- 【第13回】 バーミヤーン遺跡の誕生と衰退
- 【第14回】 中央アジアの宗教を学ぶ—イスラーム教—
- 【第15回】 中央アジアのテュルク化とイスラーム化